

# 伊勢・三河湾貧酸素情報 (R2-5号)

令和2年7月17日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和2年7月13日に伊勢湾、7月16日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

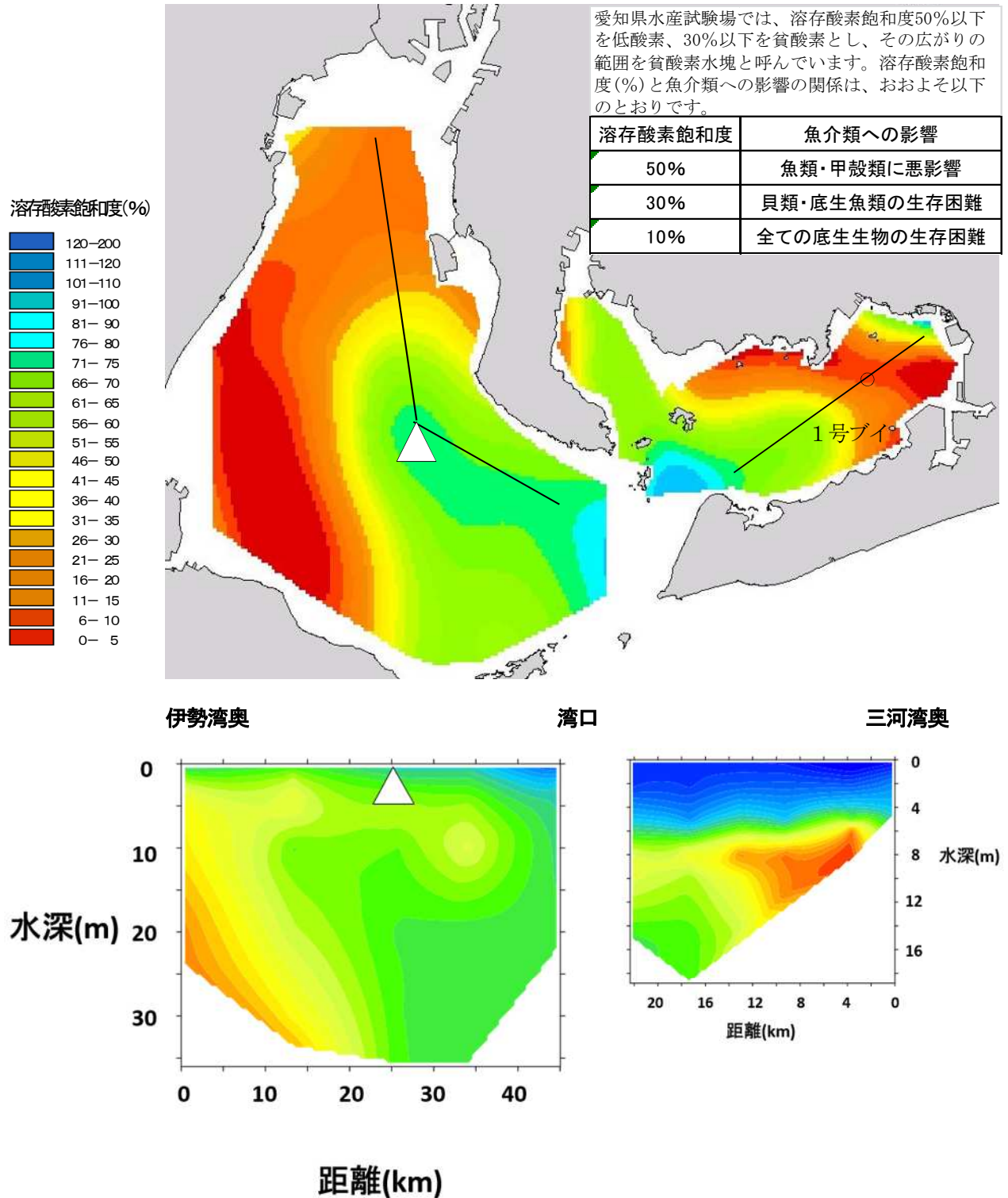


図1 伊勢湾(7月13日)、三河湾(7月16日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(三重県「あさま」、愛知県「へいわ」調査)

### 伊勢湾

7月13日の調査結果を図1に示しました。伊勢湾湾奥部、湾西部で貧酸素水塊が確認されました。外海水が湾口部の底層から流入し、貧酸素水塊が湾西部に移動したものと考えられます。

大雨による出水が継続しており、水温・塩分躍層が発達しています。今後は出水や梅雨明けの高水温により、さらに水温・塩分躍層が発達して貧酸素水塊が拡大するものと思われます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	19.7~23.6	4.6~25.9
底層	17.1~20.3	32.3~34.4

### 三河湾

7月16日の調査結果を図1に示しました。渥美湾奥部に貧酸素水塊が確認され、前回調査より貧酸素水塊は拡大していました。また知多湾奥部でも引き続き、貧酸素水塊が確認されています。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ（蒲郡沖）では、7月7日に一旦解消された貧酸素水塊が再び形成される様子が観測されています（図2）。

大雨による出水が継続しており、水温・塩分躍層が発達しています。今後は出水や梅雨明けの高水温により、さらに水温・塩分躍層が発達して貧酸素水塊が拡大するものと思われます。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	23.5~26.0	8.5~21.9
底層	19.2~24.2	19.2~33.7

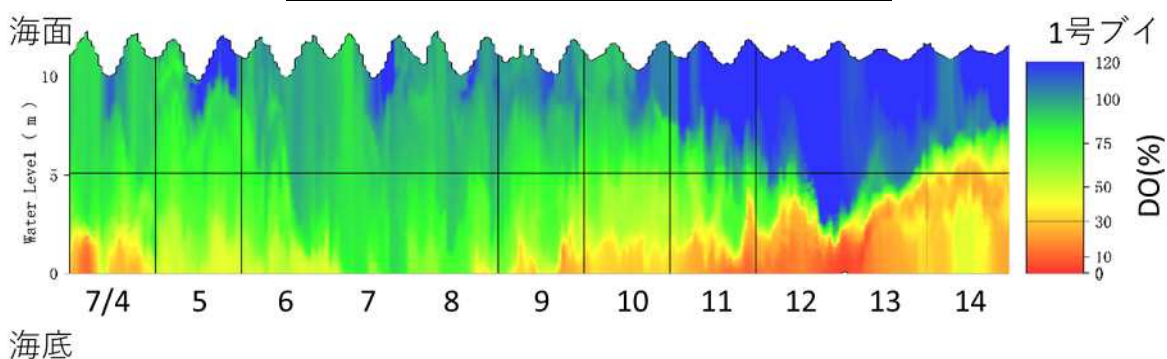


図2 溶存酸素飽和度 (DO) の経時変化 (三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ)

### 参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況 (図3)

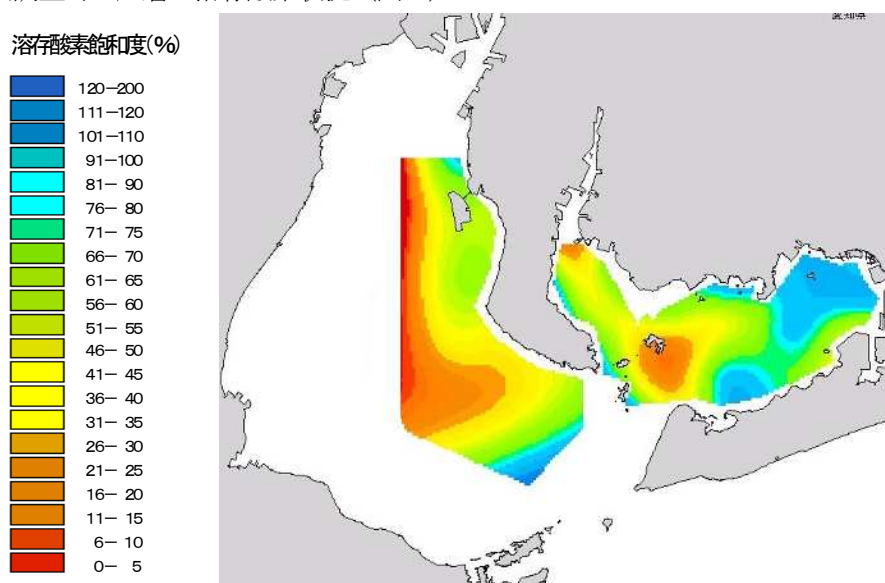


図3 令和2年7月3日 (伊勢湾)、7月1、2日 (三河湾)